

2011 年

7 月 30 日（土曜日） 「富貴高司著作集」 - 出版記念祝賀会に臨席して -

本日、「富貴高司著作集」出版記念祝賀会がたくさんの関係者の皆さんとともに盛大に開催され、臨席をさせていただきました。ご出版を心からお祝い申し上げます。

富貴高司さんは、本名、水野孝典さんで、本市発足以来、6 年間にわたり教育委員会の教育次長として本市としての教育の基礎づくり、学校ボランティア制はじめ地域ぐるみの教育推進、学校再編計画など教育の大計づくりに中心的に関わっていただき、7 月からは教育委員をお受けいただき、心から感謝を申し上げます。

現在、平成 25 年、2013 年が「丹後建国 1300 年祭」に当たるということで、丹後 3 市 3 町中心に準備を始めていますが、確かこれは、2 年ほど前に「西暦 713 年は丹後が丹波から分かれて建国されたときですが、2013 年がそれから 1300 年に当たります。1300 年祭のようなものをしませんか？」と、当時の水野さんが私に持ちかけてこられたのが当市としてのきっかけだったように記憶しています。我が国全体の状況とてそうですが今日の丹後を巡る厳しい状況の中で将来の発展を展望する上で地域全体でとてははずみになる話ですし、自分たちの地域にどのように夢やロマンを込めていくか、ということが問われるのではないかと考えています。

水野さんが富貴高司さんとして文学を積み重ねてこられたのも、ご自身の生活や人生の営みをベースに夢やロマンをどのように込めたり、見出したり、そんな様々な作業の繰り返し、積み重ねだったのではないかと想像しています。

これから、水野さんには、ますます素晴らしい文学を築いていただきたいと思いますし、同時に、本市の教育行政も大計としての基礎づくりを引き続き重ねる中でその器にどのように魂をこめていくかが絶えず問われていますが、本市の教育委員として、教育委員長、教育長はじめ他の教育委員の皆さん、事務局職員、保護者や地域の皆さんとともに一緒になって、子供たちを大きく豊かに育ていくための教育への夢やロマンを教育の尊い魂の中に、そして水野さんご自身のますます豊かな人生の営みの中に込めていただきたいと思います。